

四国お遍路の日程変更

土佐の国を十一月に周られた方にご案内した春の四国遍路の日程ですが、お参りの方の複数が三月末から四月始めは年度替わりで忙しいとのご連絡を頂きました。そこで三月中旬を中心にホテルなどの状況を見ながら日程変更をいたします。

第一案として、三月十一日から十四日のうちの三日間、もしくは三月十七日から十九日となります。

次回の上之坊だよりが一月下旬に出ますが、料金や宿も含めてご案内をいたします。

真言宗の基礎知識（その五十二）

（弘法大師御入定の後 その六）

現在真言宗醍醐派のお寺は、広島県では尾道の西国寺が大本山に、世羅郡甲山の今高野山が別格本山になっており全国に約八百五十ヶ寺の末寺があります。

しかし、醍醐派は寺院の数より多くの信者・縁者の方がかいて、特に醍醐寺は山伏の方達にとつて、役行者（えんのぎょうじゃ）と並ぶ聖宝理源大師（しょうぼうりげんだいし）のお寺として、とても大切にされています。

少し横道にそれますが、日本の山岳宗教である「修験道（しゅげんどう）」についてお話をいたしましょう。

修験道は日本独自の宗教で、仏教とは別の歴史を経ています。修行者を山伏（やまぶし）と呼びますが、本来は僧侶ではなくて在家の方が修行を積んで山伏になりました。

この山岳信仰に、真言密教や天台密教の教えや作法が聖宝理源大師などによって加わり、明治以降は密教一派のようになってきているのですが、柴燈護摩を焚くような山伏になるには、真言密教の修行のほかに山岳を廻るような修行と恵印（えいん）灌頂を受けなければなりません。

後記

住職交代まであと二年を切りました。法流の相承や住職辞令を本山で授与いただくのはそれ以前に終わらなければなりません。

良行の本山専修学院のお勤めは二年の限定付きで許しており、まもなく残り一年となります。これから予定をつめて、来年度の終わり三月を待って準備を始めようと思います。

今後、総代会や総代世話方で日程や記念品などの準備のご審議いただきますが、次第に移行為の整理が増えるように感じている昨今です。



上之坊だより

令和6年12月13日
第104号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168



弘法大師聖語抄

道の本は無始無終、教の源は無造無作
三世に亘つて変ぜず、六塵に遍じて常恒

「真理は始めも終わりもあるのではなく、仏の教えも誰かが作ったものではない。時と空間を貫（つらぬ）いて永遠に変わらず、すべての場所に備わっているのである」とお大師さまは説かれました。

仏教の教えは釈尊（お釈迦さま）が真理を発見された訳ですが、発明されたものではありません。

お釈迦さまのご誕生する随分前からインド哲学のなかに

は前宗教として、文化の土壌に高遠なる思想が備わり、真理の発見に随分近づいて来ていたようです。

人生の意義や生きる意味を考えてきた歴史の結果として仏の教えはお釈迦さまの出現を待って現れました。

その後、二千年を超える歳月を経て、形を変え、多くの人たちに支えられ、命を懸けて海を渡りたどり着いた教えが仏教です。

総代会世話方会開催

上之坊総代会と総代世話方会を来年令和七年一月十九日に行います。
時間は、総代会を午後一時半から開催し、総代世話方合同会議は午後三時から開催の予定となっております。
議題は、晋山式に向けての整備の検討と、二月一日の星祭の実施や月並みの護摩の当番表、四国や高野山への参拝のご案内、その他となっております。

上之坊門前広場工事進捗

令和八年十一月に執行される住職交代の晋山式に向けて、記念事業となる門前の広場の整備が進んでおります。第一期工事では、正門（鐘楼門）までに石畳が完成をし、舗装の箇所も完成しました。農地転用を行った場所についてはすべての造成が終わっており、進捗割合は第一期工事全体の九割を超えました。
第一期工事は今年十二月末で終了し、第二期工事が年明けから開始される予定になっております。次の総代会並びに総代世話方会が来年一月十九日に予定されていますが、ここで第二期工事の予算と工事計画、作業工程の設定などの審議が行われることとなります。皆様からのご寄付につきましましては、すでに予想の金額を上回って来ております。まだ残り一年半ほどの余裕がありますので、どうぞご無理をされずによりしくお願いいたします。
なお、晋山式などの日程は令和八年十一月と決定しておりますが、今回開催予定の庭儀大護摩供を毎年開催するか、住職交代を晋山式前のいつにするのかなどもご相談を始めたいと存じます。

庭儀大護摩祈願法会（十二月二十八日）

上之坊門前広場の第一期工事の完成を記念して、初めてとなる庭儀大護摩法会を十二月二十八日開催いたします。

この庭儀大護摩とは、毎月本堂内陣において焚かれている護摩をお寺門前の広場に設けて、普段の何倍もの木を組み上げて松明で火をつけて皆様方の添え護摩木と一緒に焚き上げます。
時間は午後一時半から三時の予定ですが、火渡り参り（ひわたりまいり）などはその後も延長をして行う予定です。

当日の天候にもよりますが、風が強い場合も予想されますので、開催は当日朝の天候を見て判断いたします。お参りの方は、シートや防寒具、椅子などをご用意してお越しください。火渡りを希望される方はタオルなどをご用意されることをお勧めいたします。なお添え護摩木は一本三百円で、五本に同じ御祈願を書かれる場合は千円となります。主な御祈願は、家内安全などです。

また、お札のご希望の方は、家内安全のみで木の小札で三千円となります。当日午後一時から二時の間に横門受付でお申し込みをお願いいたします。

布薩会 実修

十二月二十九日

昨年十二月に行われた布薩会を今年も行います。

この布薩会は出家した人を中心に、僧坊に集まって今までの間違いを反省し、驕慢の心を戒める作法で、内々で静謐な行事です。

参加ご希望の方は人数を限定して参拝をしていただきますので、定員を超えた場合は次回参加となります。（出家者優先となります）

日時は十二月二十九日、午前九時半集合で、予行演習にご参加いただき、午前十一時から一時まで行われ、その後おうどんを食べて頂き解散となります。参加費は一般千円となります。伝法灌頂修了者で僧階をお持ちの方には佛布施があります。

お問い合わせは十二月二十一日以降でお電話でおねがいいたします。

十二月亥冬会中止

毎年、十二月と二月に実施をしている亥冬会（げんとうえ）ですが、今回は、十二月二十八日の庭儀大護摩供と、二十九日の布薩会の準備の都合で延期をお願いいたします。

来年二月下旬の土・日曜日のいずれかの日お昼から実施いたしますので、ご案内を次回一月下旬発行の上之坊便りでいたします。内容は、阿字観や四国遍路・ふるさとの歩みなどです。